

卒業生アンケート集計結果について

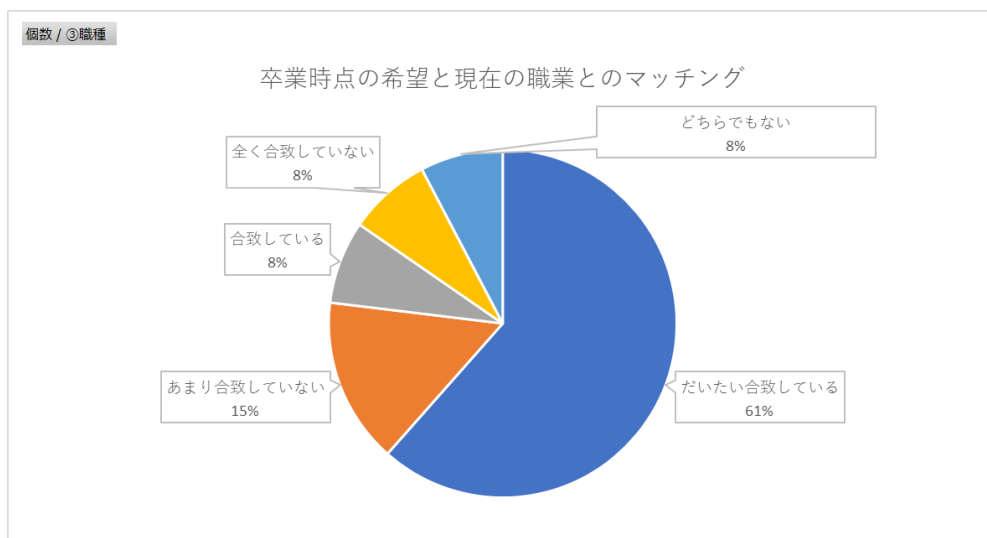
(1) アンケート概要

平成 30 年度は、本学卒業生のうち第 32 期生（144 名）及び第 44 期生（92 名）に郵送し、13 名（うち第 32 期生 4 名、第 44 期生 9 名）から回答を得た。アンケートの内容は別紙のとおりである。

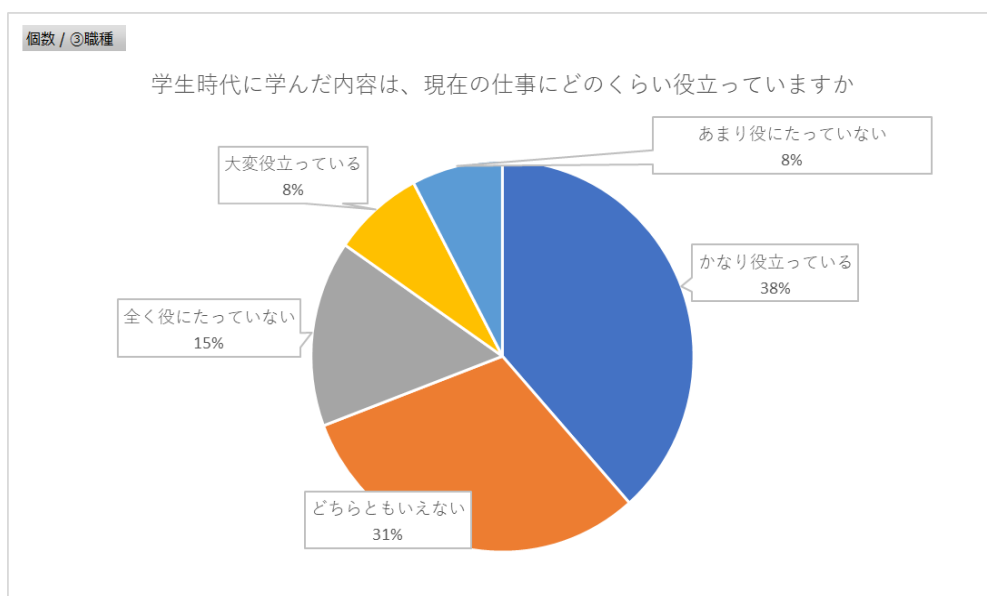
(2) アンケート結果

調査母数が少ないため、主な内容のみを取り上げる。

①卒業時点の希望と現在の職業のマッチング

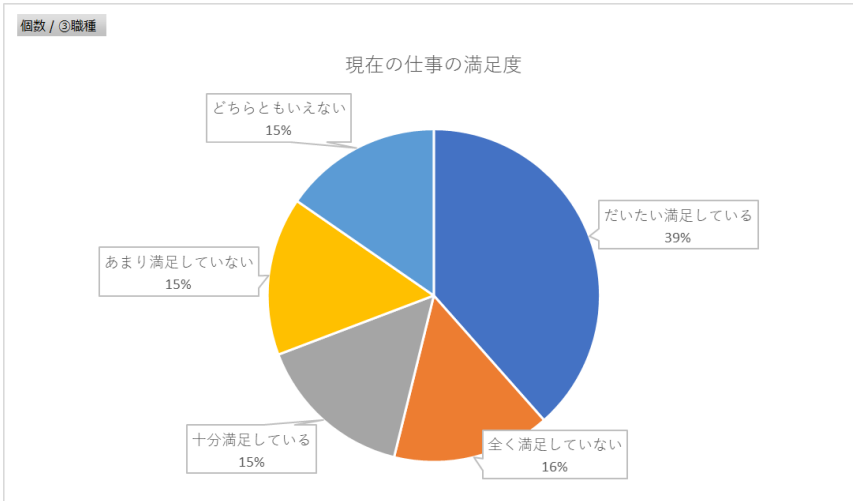


②学生時代に学んだ内容は現在の仕事にどのくらい役にたっていますか。



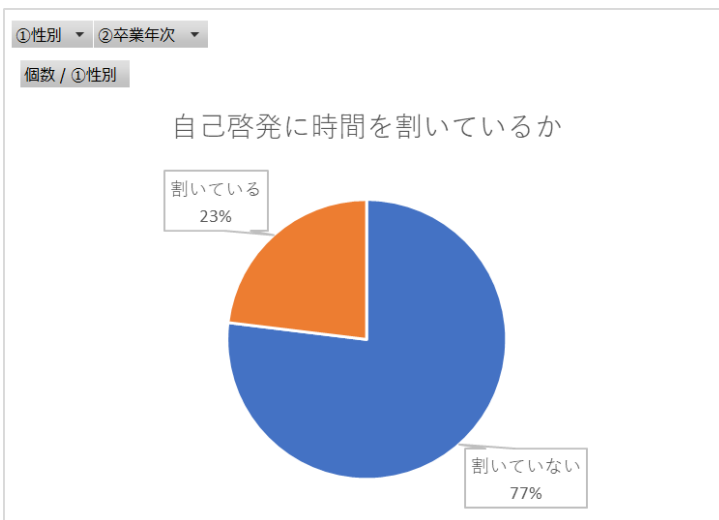
「かなり役に立っている」「大変役に立っている」合計で 46%である一方、「どちらともいえない」「あまり役にたっていない」「全く役にたっていない」合計で 54%になる。

③現在の仕事の満足度



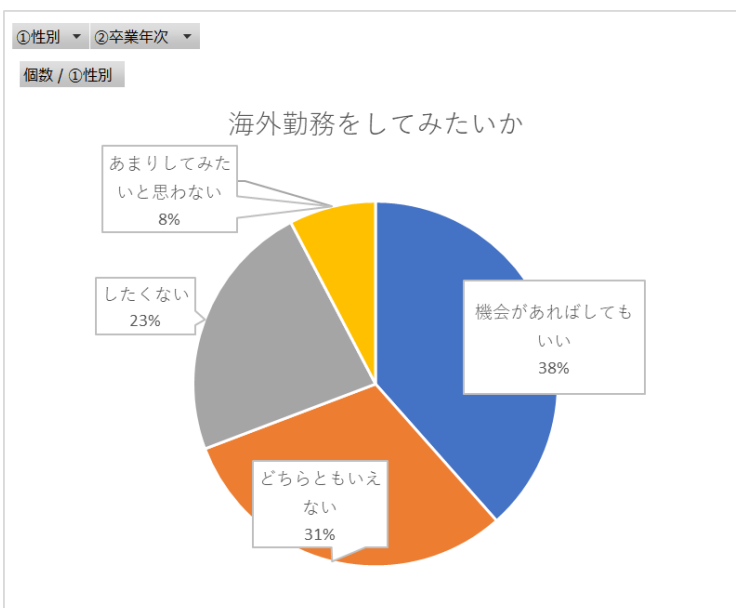
「だいたい満足している」が 39%である他は、どれも同程度である。

④自己啓発の時間



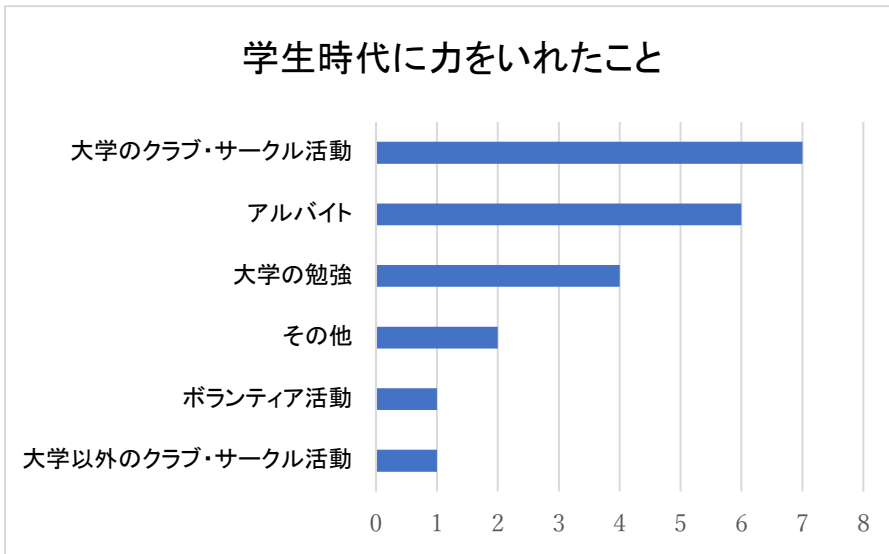
自己啓発に時間を割いていない卒業生が 77%を占める。

⑤海外勤務に関する興味



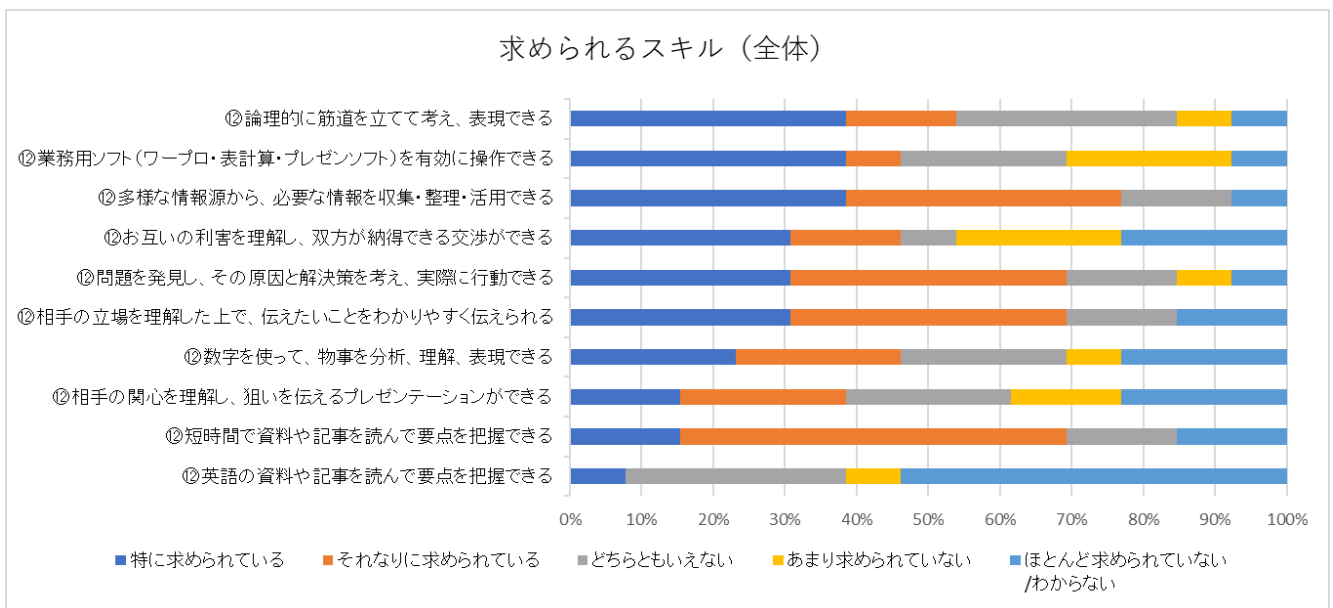
海外勤務に強い興味を持っている卒業生は、今回の調査ではいなかった。

⑥学生時代に特に打ち込んだこと



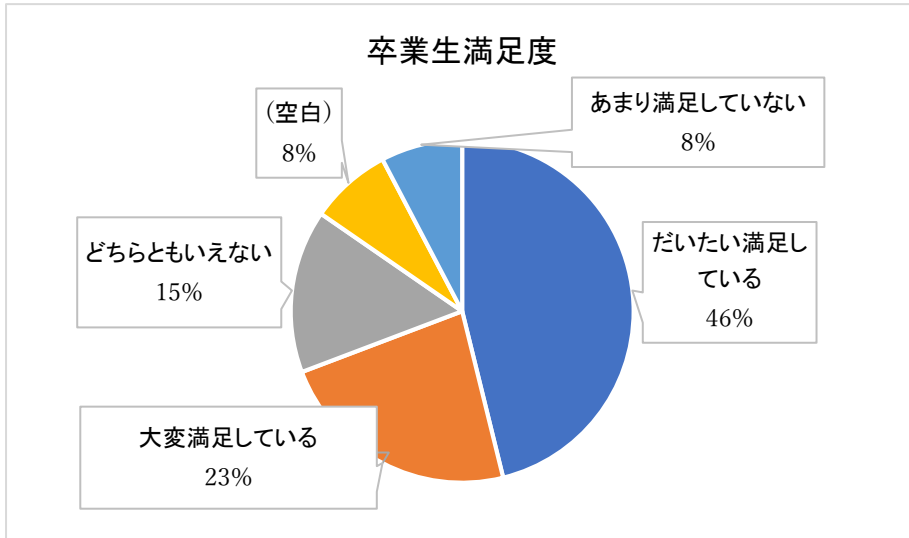
クラブ・サークル活動がトップで、アルバイトがそれに続く。

⑥現在の仕事で求められているスキル



「特に求められている」でソートを行っているが、オレンジで示されている「それなりに求められている」ものも含めると、「多様な情報源から、必要な情報を収集・整理・活用できる」能力が最も多く求められており、「問題を発見し、その原因と解決策を考え、実際に行動できる」「相手の立場を理解した上で、伝えたいことをわかりやすく伝えられる」「短時間で資料や記事を読んで要点を把握できる」が続く。PC能力は現在の業務内容により差があることが考えられる。

⑦卒業生満足度



「だいたい満足している」「大変満足している」を合わせて 69%を占める。